

杉並第一小学校震災救援所 運営マニュアル(簡便版)

この震災救援所は、防災会、町会、PTAなどの
地域の方と、学校、区等で構成され組織で運営
されております。

令和6年度(2024年度) ver.7
(2024年11月16日 訓練用)

このマニュアル(簡便)は、震度5強以上の大地震が生じて避難者や帰宅困難者がこの救援所に来所した場合にどう対応して、運営していくのかについて説明しています。

実際は、この簡便マニュアルと別冊マニュアルを併用して実務を行ってください。

この震災救援所は、具体的には「学校担当者」「区担当者」と「地域指導者」の三者で運営されることになっておりますが、大地震はいつ生じるか分かりませんので、初動段階ではその時に集まったメンバーで適宜実施してください。

また区では、震災救援所運営標準マニュアルを各学校ごとに作成しており、杉並第一小学校震災救援所用も作成しております。

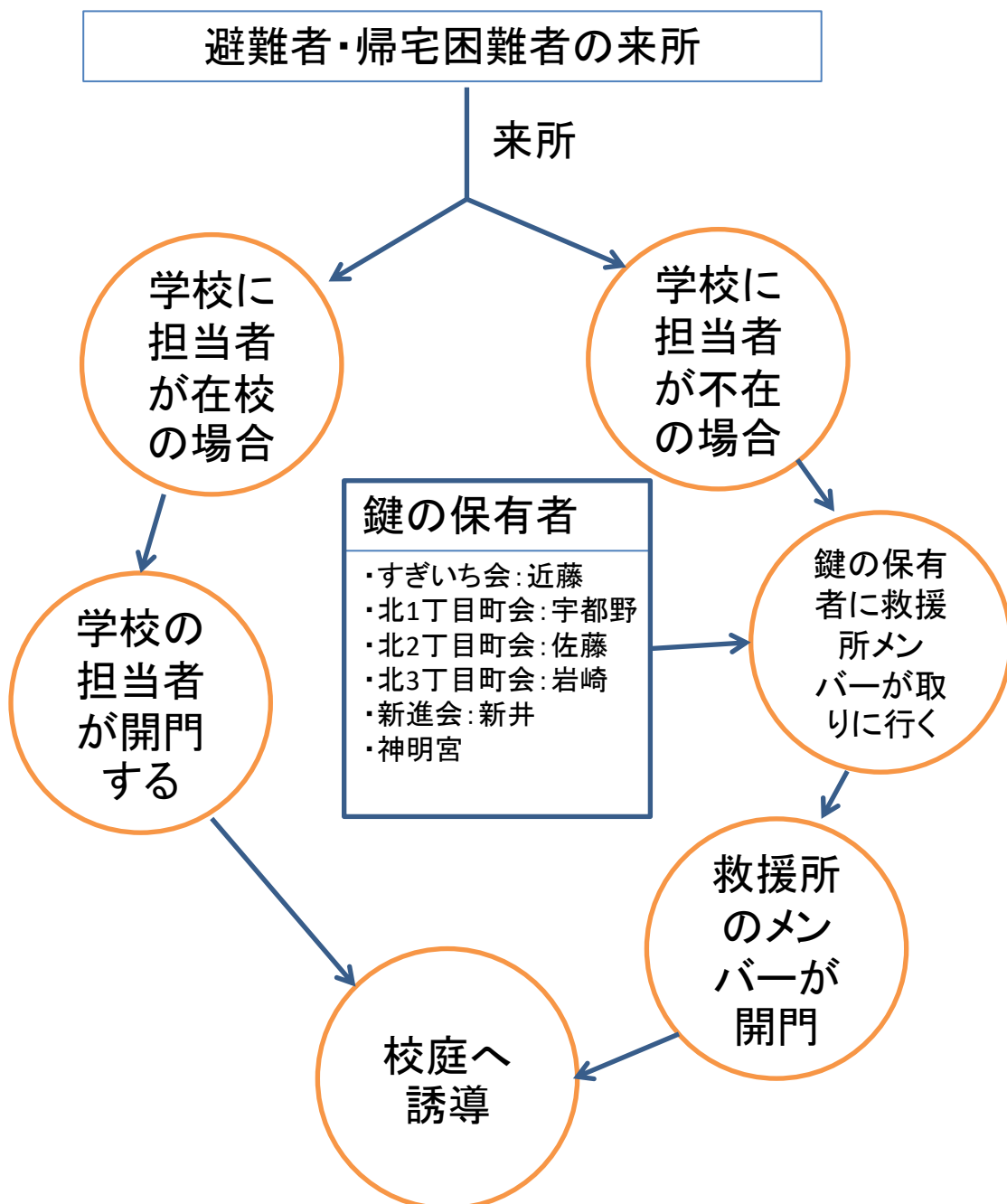
この2つのマニュアルを活用していただき、震災時における対応方法を検討してください。

杉一小救援所訓練風景2015 <https://www.youtube.com/watch?v=HnAFzf7M548>

防災訓練2016前半 https://youtu.be/_3fU7euTApQ

防災訓練2016後半 <https://youtu.be/UrFwVryWYtc>

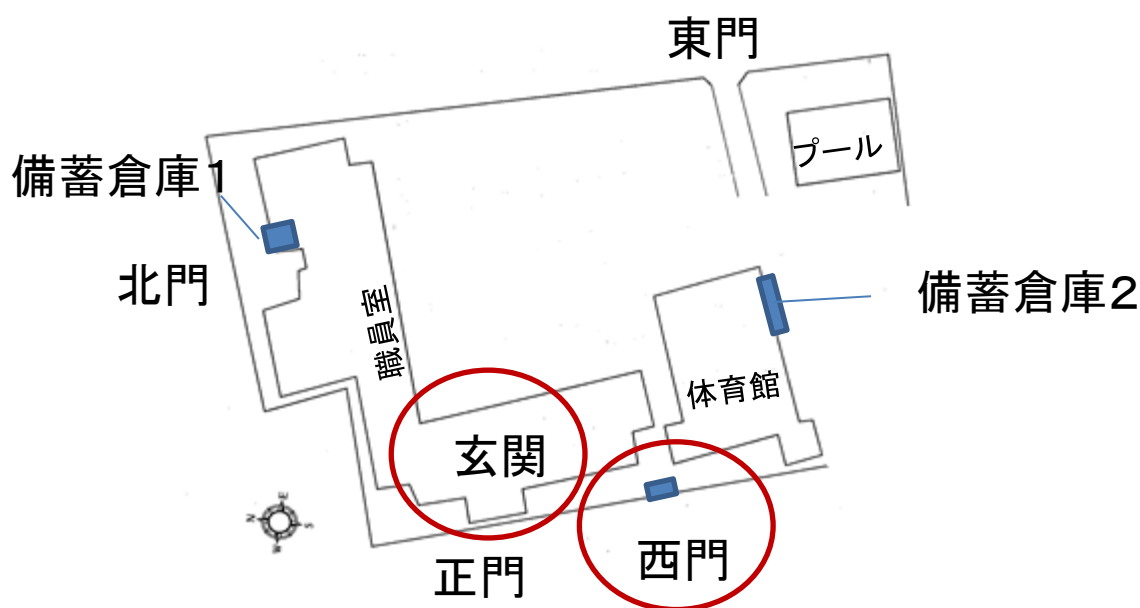
避難者・帰宅困難者の来所から開門まで



1. 開錠

(1) 災害時の開錠について

- ・夜間10時から朝6時半まで、また年末年始などは機械警備になります。
- ・西門のカギは、北1,2,3丁目町会、新進会、すぎいち会、神明宮(裏木戸から入る)が保有しており、西門のカギを開錠して校内に入ります。
- ・正門近くの玄関のカギを開錠して校舎内に入ります。
- ・備蓄倉庫2、物置のカギは一体となって「備蓄倉庫1」に掛けてあります。



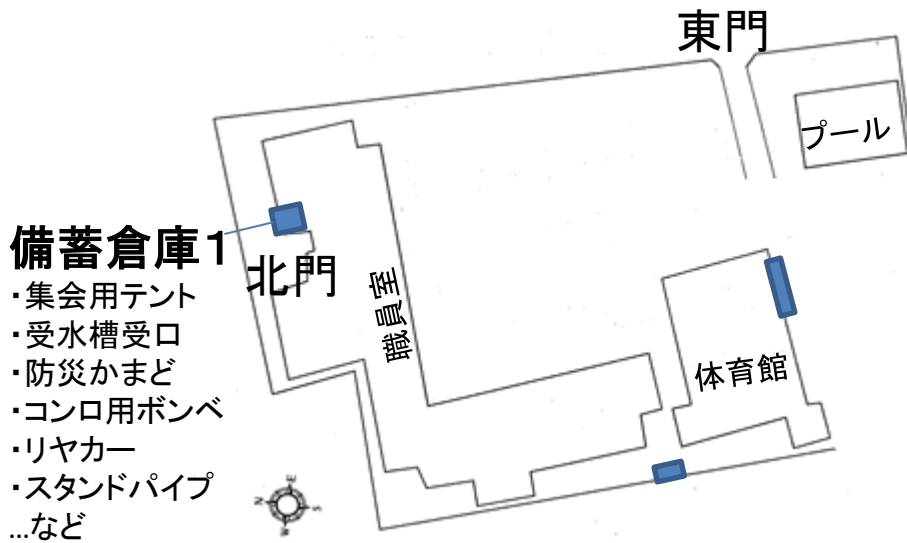
(2) 開設可否について

- ・震度5強以上の時には直ちに開設の準備にかかります。
- ・救護所の入り口は「東門」のみとし、正門、西門、北門は閉鎖します。

メモ・・・鍵の保有者

- ・すぎいち会: 近藤 浩、080-3701-5137
- ・北1丁目町会: 宇都野 正朔、090-7904-6115
- ・北2丁目町会: 佐藤 文夫、080-5054-4281
- ・北3丁目町会: 岩崎 泰三、090-8811-6864
- ・新進会: 新井 宜方、090-2487-2115
- ・神明宮: 03-3330-4824

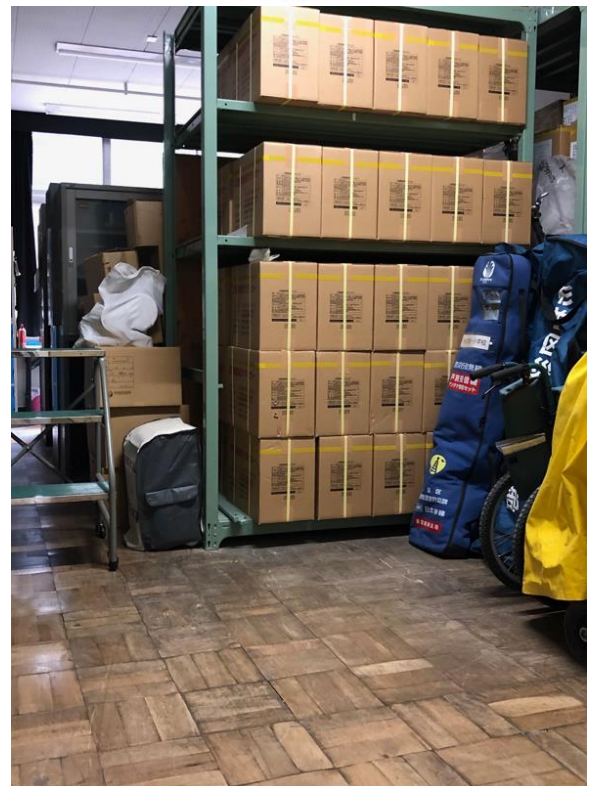
備蓄倉庫1



<Before>



<After>



2. 避難者・帰宅困難者の 受入れと誘導場所

(1) 避難者の受け入れについて

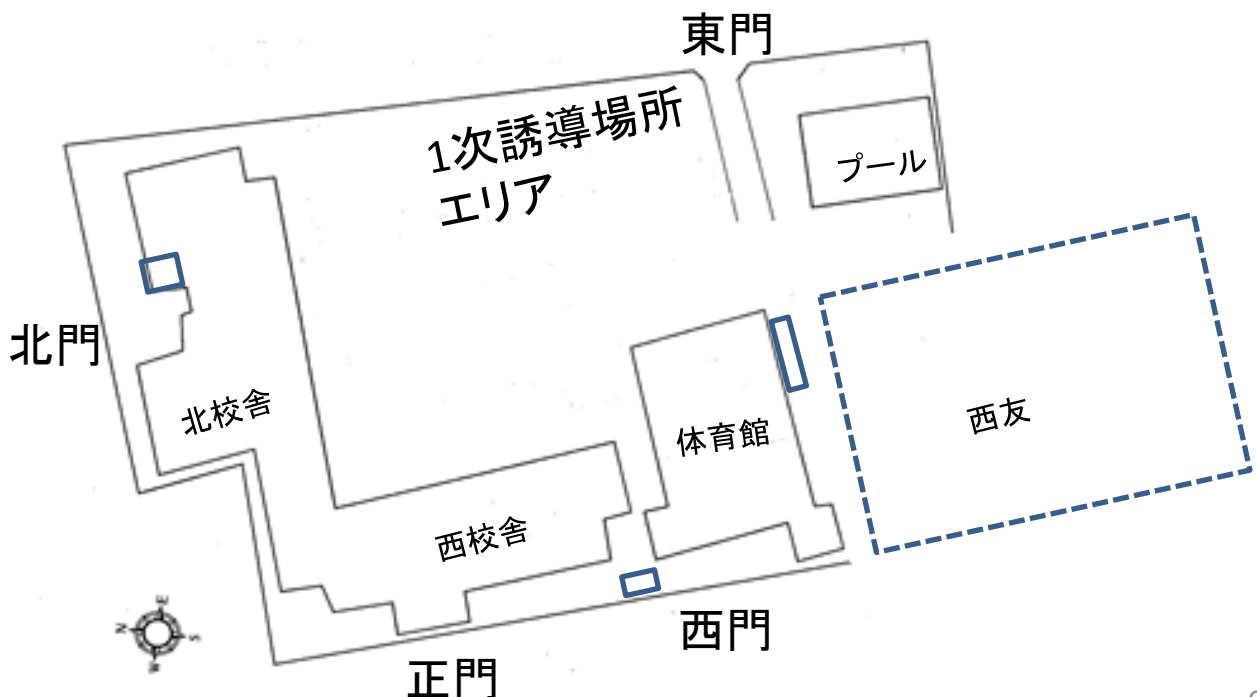
- ・本部が設置される前に避難者が入校してくる可能性があります。
- ・避難者カードを配布する前に、集まった震災救援所連絡会のメンバーがリーダーとなって1次誘導場所に誘導します。
- ・この時点では原則として、建物内に入ること及び車で校庭に入することを拒否します。

(2) 帰宅困難者の受け入れについて

- ・杉並区災害対策本部の一時滞在施設である「阿佐谷地域区民センター」に空きがあれば、「阿佐谷地域区民センター」を案内する。
- ・「阿佐谷地域区民センター」に空きがない場合に限り、本救援所に対応する。
- ・可能であれば、救援所内では避難者と帰宅困難者のスペースを分ける。

(3) 1次誘導場所と2次誘導場所について

- ・体育館や教室が使えるようになるまでの待機場所を1次誘導場所といいます。
- ・1次誘導場所は校庭の東側とします。
- ・2次誘導場所は体育館とします。
- ・避難者は情勢を伝えやすいので最初は体育館の1か所に誘導します。
- ・教室の安全が確認されたら教室に誘導します




2. 避難者・帰宅困難者の 受入れと誘導場所

震災救援所の開設準備

避難者の受入

震災救援所の運営

避難者対応班（庶務・情報部）の業務 帰宅困難者の対応	実施 時期	3 時間以内
<p>（１）帰宅困難者の要望確認</p> <p>☑帰宅困難者が来所した場合、要望を確認します。</p> <p>（２）一時滞在施設等の案内</p> <p>☑駅から比較的近い震災救援所では、多くの帰宅困難者の来所が予想されるため、区災害対策本部（救援隊本隊）に一時滞在施設の開設状況を確認します。</p> <p>☑帰宅困難者の要望、体調、施設の空き状況などを考慮し、近隣の一時滞在施設、災害時帰宅支援ステーションを案内します。</p> <p>※「その他５ 東京都防災マップ（資料・様式集参照）」 https://map.bosai.metro.tokyo.lg.jp</p> <p>（３）帰宅困難者の受入</p> <p>※近隣の一時滞在施設に空きがない場合に限り対応します。</p> <p>☑震災救援所での一時休憩を希望する場合、避難者の受入状況を確認します。</p> <p>☑施設管理部と相談して地域の避難者と区別して、帰宅困難者滞在スペースを決定します。</p> <div data-bbox="297 1400 1116 1545">  <p>帰宅困難者滞在スペース</p> </div> <p>☑帰宅困難者を受付窓口へ誘導します。→「避難者の受付」参照</p> <p>☑受付が終わった帰宅困難者を帰宅困難者滞在スペースに案内します。</p> <p>☑帰宅困難者に被害や交通状況等、可能な限り情報を提供します。</p>		

3. バルーン投光機の設定

バルーン投光機は、備蓄倉庫2(体育館)にあります。



箱からバルーン本体を取り出してポールの上に載せます。



バルーンの袋は上で畳んで小さくします。



バルーンの内側にあるファスナーを引いて空気がたまるようにします。



4. 発電機の設置

発電機は、備蓄倉庫2(体育館)にあります。

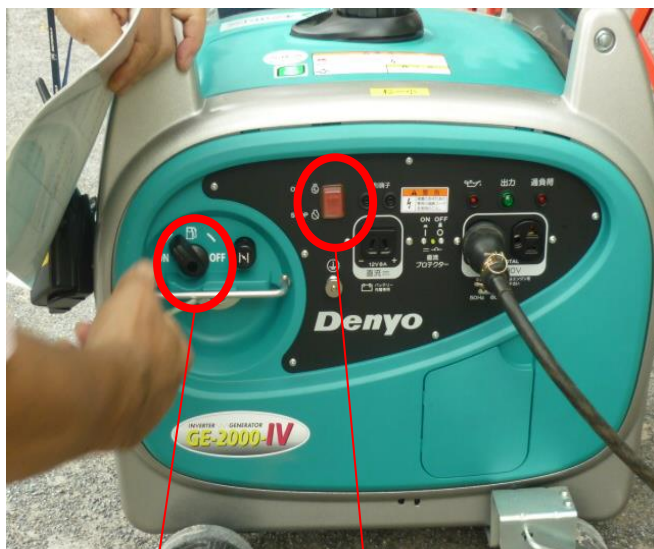
換気が良く、周囲に燃え移るものがない場所に設置します。

上部のタンク・キャップを開けて、ガソリンを注ぎます。



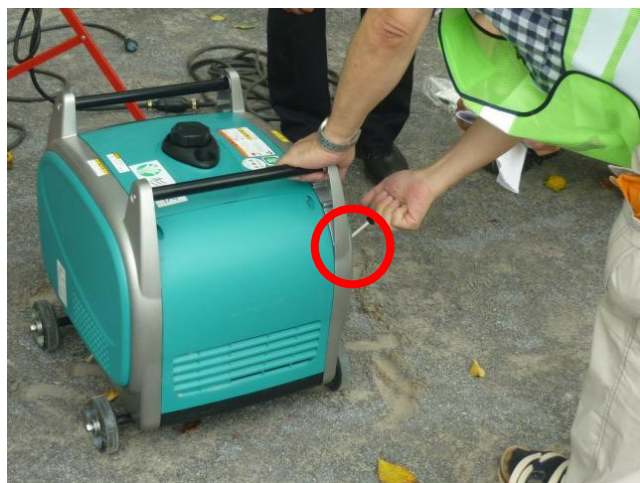
①専用の漏斗を使って注ぎます。

※缶から直接入れると、周りにこぼれて危険です。



②このツマミをONにします。

③このボタンをONにします。



④スターターを思い切り引きます。



⑤電源プラグを差し込みます。

5. 救護所の安全確認

(1) 校舎、体育館建物の安全確認について

- ・集まっている震災救護所連絡会のメンバーで巻末の「施設安全点検マニュアル」を使って建物の安全性を確認します。
- ・可能ならば、応急危険度判定士へ要請します。
- ・最初に体育館の安全を確認します。次に校舎の安全を確認します。
- ・確認する前に避難者、帰宅困難者が入校してくる可能性があります。集まっている震災救護所連絡会のメンバーがリーダーとなって校庭の1次誘導場所に誘導します。

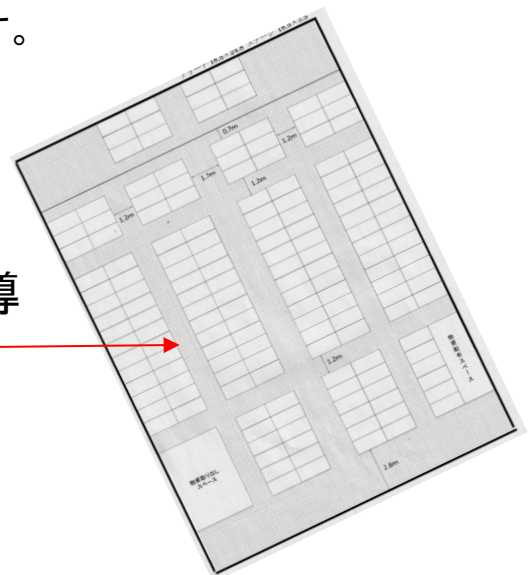
(2) もし校舎、体育館建物が傷んでいたら

- ・本部に報告し、本部は貼り紙等の方法で立ち入り禁止を公示します。
- ・本部は使える教室を正確に把握し、児童と避難者、帰宅困難者の避難場所を計画します。

(3) もし校舎、体育館建物が安全ならば

- ・本部に報告し、本部は貼り紙等で安全を公示します。
- ・本部はまず体育館に避難場所を計画します。
- ・次に校舎に避難場所を計画します。
- ・計画が整い次第、体育館および校舎に誘導します。

空間内の誘導
方針を記入

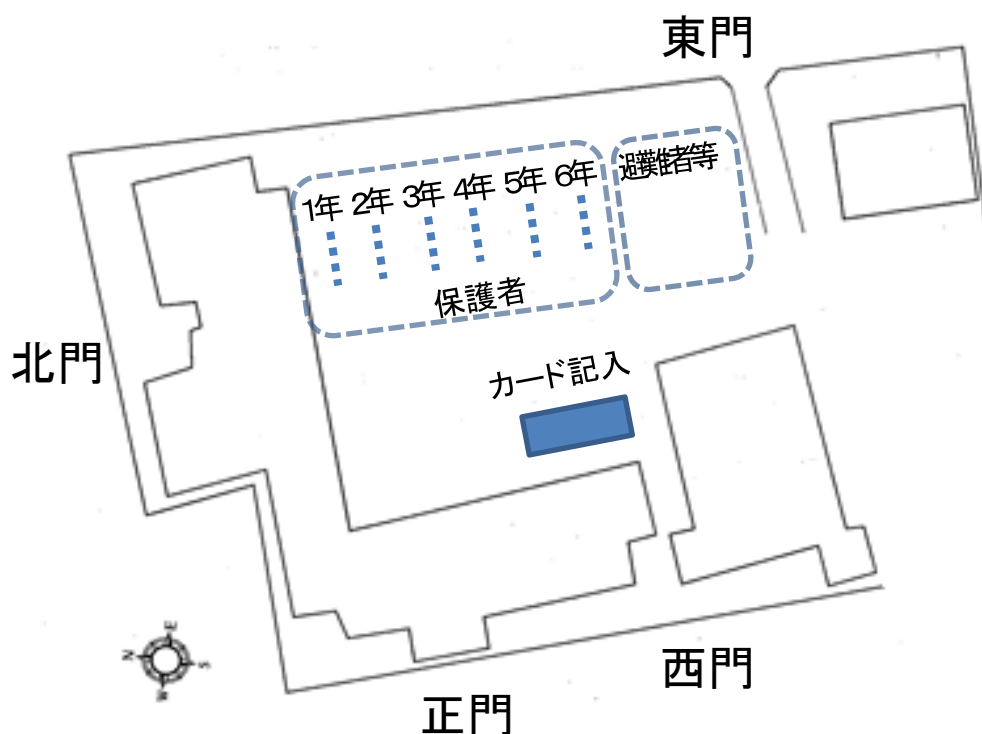


6. 児童引き取りの誘導員の配置

(1) 児童の引き取りについて

- ・児童は、校庭の東側で家族(保護者)からの引き取りを待ちます。
- ・待機している児童と避難者や帰宅困難者とが混じらないように誘導します。

■ 児童引き取りと重なったときの誘導のゾーニング・イメージ



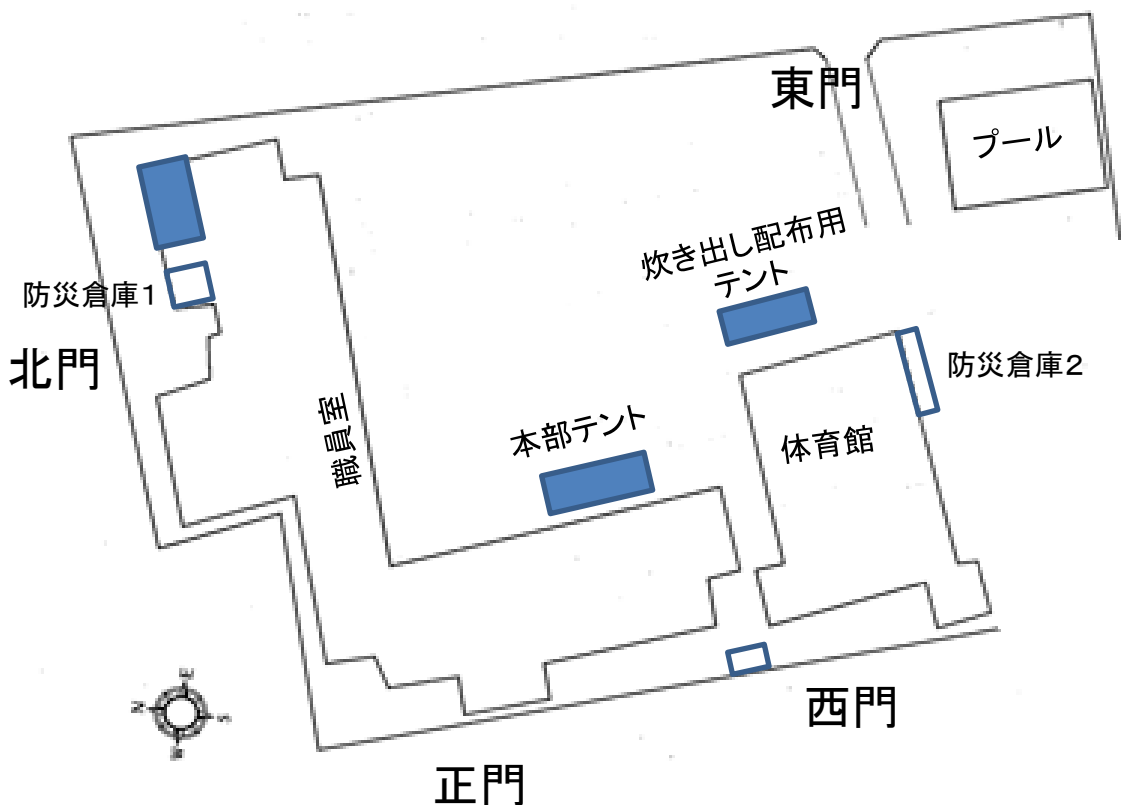
7. 救援所の開設

(1) 本部の設置について

- ・本部は、校庭の西校舎の前に設置します。
 - ・本部は、まず避難者、帰宅困難者に「避難者登録カード」を記入してもらいます。
 - ・本部には会長、所長、校長のいずれかが必ずいるものとします。
- (上記の者の来所が遅れた場合には代理人が代行する。)

(2) 炊き出し配布用テント

- ・体育館の前に炊き出し配布用テントを設置します。



8. 感染症対応

(1) 感染症対策セットの確認

- ・防災倉庫内の感染症対策セットの用途及び取扱要領を確認します。

＜感染症対策セット一覧＞

物品名	数量	備考
フェイスシールド	230 個	
ゴム手袋	500 双	Mサイズ300双・Lサイズ200双
医療用ガウン※	250 着	
防護服セット	1 式	
手指消毒液（1000 ml）※	4 本	
手指消毒液（800 ml）※	12 本	
手指消毒液（500 ml）※	1 本	
感染症対策除菌消臭剤（250 ml）※	4 本	
除菌消臭用漂白剤※	2 本	
非接触式電子温度計・体温計※	3 本	
電子体温計（接触式）※	5 本	
養生テープ（赤）※	1 巻	

※令和4年7月時点

(2) 検温コーナー・受付の設置

- ・感染症対策セットから、体温計、手指消毒液を用意します。
- ・検温コーナーを設置します
- ・受付窓口を設置します（一般受付と感染症専用受付を分けます）

(3) 校庭での分散待機と専用スペース設置

- ・校庭内で一般の避難者と一定の距離を保てるように「症状のある避難者」、「濃厚接触者」、「陽性者」に分かれて分散待機をしている旨を避難者に呼び掛けます。
- ・校舎の安全点検後、「症状のある避難者専用スペース」、「濃厚接触者専用スペース」、「陽性者専用スペース」を検討します。
- ・トイレ、手洗い場も専用とし、一般の避難者と接触することがないように、動線も含めて分けます。
- ・「症状のある避難者専用スペース」、「濃厚接触者専用スペース」、「陽性者専用スペース」を設置します。
- ・症状のある避難者については、テント型プライベートルームや段ボール間仕切り等、極力個室の状態となるよう備蓄品等を活用します。

9. 要配慮者への支援

(1) 安否確認班、救助班の編成

- ・備蓄倉庫1(理科室となり)のキャビネットに保管されている要配慮者登録台帳と避難者名簿を突合して、震災救援所へ避難していない登録者(災害時要配慮者)を把握します(登録カードの「たすけあいネットワーク登録・有無」で確認)。
- ・震災救援所へ避難していない登録者の安否確認を実施するため、安否確認班、救助班を編成します。

○安否確認班：1班3名以上で複数班

○救助班：1班4名以上で複数班

- ・登録者の安否確認などを実施するため、庶務・情報部にボランティアの募集依頼を伝えます。
- ・対応できるボランティアを避難者から募ります。

(2) 安否確認(安否確認班)

- ・登録者グループ別に特設公衆電話で安否確認を行います。
- ・電話が不通の場合や応答がない場合は現地確認に向かいます。
- ・安否確認結果を救護・支援部長に報告します

(3) 救助の実施(救助班)

- ・安否確認班が生命に危険のある者を発見した場合、救護・支援部長の命令を受け、現地に出動します。
- ・必要により、救援隊本隊・消防・警察へ救助を要請します。

(4) 要配慮者への情報伝達 <情報掲示板での周知事項(例)>

- ・視覚障害者には、情報掲示板に記載された情報を口頭で伝えます。
- ・聴覚障害者には、筆談で伝えます。
- ・知的障害者、精神障害者、発達障害者には、それぞれの特性にあわせて、簡易で短い文章、絵で示すなどの方法で伝えます。
- ・認知症者には、今の状況をわかりやすく説明し、不安をやわらげ、本人に分かってもらいたいことをメモにして渡すなどの方法で伝えます。
- ・外国人には、外国語を話せる協力者を避難者のなかから確保します。
- ・要配慮者が専門的なケアが必要で本救援所での生活が困難な場合は二次救援所(阿佐谷地域区民センター)への移送が必要になるため、救護・支援部へ相談します。

9. 要配慮者への支援

震災救援所の開設準備

避難者の受入

震災救援所の運営

庶務・情報部の業務	実施 時期	3 時間以内
避難者への情報伝達		
<p>(2) 要配慮者への情報伝達</p> <p>☑要配慮者に情報を伝達する際には、協力者を確保することが重要となります。協力者には、以下のような方法を参考に情報伝達を行ってください。</p> <p><情報掲示板での周知事項（例）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者には、情報掲示板に記載された情報を口頭で伝えます。 ・聴覚障害者には、筆談で伝えます。（防災倉庫内の聴覚障害者対応物品、アンプルボードを活用） ・知的障害者、精神障害者、発達障害者には、それぞれの特性にあわせて、簡易で短い文章、絵で示すなどの方法で伝えます。 ・認知症者には、今の状況をわかりやすく説明し、不安をやわらげ、本人に分かってもらいたいことをメモにして渡すなどの方法で伝えます。 ・外国人には、外国語を話せる協力者を避難者のなかから確保することや防災倉庫内の「多言語表示シート」を活用します。 <p>☑情報伝達をする中で、該当の要配慮者が専門的なケアが必要で震災救援所での生活が困難な場合は、二次救援所及び福祉救援所への移送が必要になるため、救護・支援部へ相談します。</p>		

震災救援所運営管理標準マニュアル(運営管理編:P6)

10. ペット対応

発災時、杉並区では原則、ペット同行避難です。

救援所の初動対応



ペット同行避難者への指示



1. 事故やトラブルを防ぐため、一般避難者から離れて待機する。
→校庭で、繋ぎとめられるフェンスや遊具がある場所など。
2. ペットが人を噛んだり、逃げたりしないよう十分注意する。
3. 飼い主が待機場所を離れる際には、ペットを見守る人を残す。
4. ペットは一般避難者のスペースには入れない
(ペットの飼育場所は、一段落した後に伝える)。

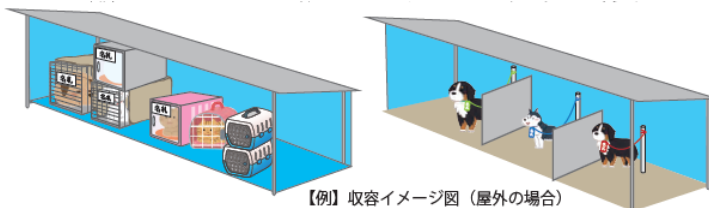
飼い主の皆さまへ

～救援所では人が優先～

救援所では、飼い主がペットの世話をします。「ペットの飼育ルール」(裏表紙)を守り、救援所の指示の下、飼い主同士で協力して飼育管理をしてください。動物が苦手な避難者に配慮し、ペットをめぐるトラブルが起きないようにしましょう。

※救援所には、ケージやペット用品、餌、水などはありません。飼い主が用意するか、飼い主同士で融通してください。

1. 救援所が指定した場所にペットの飼育場所を設営します。



【例】収容イメージ図(屋外の場合)

ペット飼育場所は
プール横の観客席



2. 「飼い主の会」を立ち上げ、人数に合わせて責任者(会長・副会長など)を選出してください。

※責任者は救援所との連絡、調整などの窓口となります。

3. 「飼い主の会」で、ペットの登録受付を行います。



4. 飼い主は、「飼い主の会」の責任者の指示に従って、犬、猫、小動物をペットの飼育場所に収容します。

11.避難者カード配布

カード一式は、備蓄倉庫2(体育館)にあります。

避難者カード(控) 【登録番号 C-6】

氏名

- 震災救援所は共同生活の場です。皆が協力し合い生活しましょう。
- 高齢者、障害のある人、乳幼児、妊産婦、病気のある人に配慮しましょう。
- 体調が悪くなったらすぐに伝えましょう。
- 生活上の悩みがありましたら、救援所役員に相談してください。
- 滞り場所、退所等変更がありましたら、必ず運営管理本部にお知らせください。

・避難者には、下の「避難者登録カード」に記入していただき、左の「避難者カード(控)」を渡します。

(控は外出する際は必ず預けるように伝えます。)

震災訓練用

避難者登録カード

作成日 平成 27年 9月 5日

登録番号

~

滞り場所

阿佐谷北 1 阿佐谷北 3 阿佐谷南 2 その他杉並区

*太線の枠は必ずご記入ください。

阿佐谷北 2 阿佐谷南 1 阿佐谷南 3 その他

フリガナ	生年月日(明・大・昭・平)			性別
氏名(本人)	××年 月 日 ××才			男・女
住所	区 丁目 ××-××			
電話(自宅)	- ××××	携帯電話	- ××××	
※訓練当日の参加者数 名(本人を含む)				
本人以外の同居していた人	年齢	続柄	本人以外の同居していた人	年齢 続柄
氏名	才		氏名	才
氏名	才		氏名	才
氏名	才		氏名	才
<p>注意点</p> <p>*ケガや病気や障害などで特別な配慮が必要ですか? はい・いいえ</p> <p>障害(身体・視聴覚・知的)</p> <p>特に知らせたい事()</p> <p>*アレルギー体質がありますか? はい・いいえ</p> <p>詳細()</p> <p>*透析や点滴、投薬等が必要で日常生活に支障がある方はご記入ください。</p>				
この避難所でお手(手話、介護、看護)				
<p>個人情報の取り扱い</p> <p>*この個人情報は震災救援所のみ使用して外部には出しません*</p> <p>ご親族等の安否をお知らせする為に氏名、年齢、性別をマスコミに公表し、他からの問い合わせにも対応する予定です。</p> <p>希望しない方は○をつけてください。 希望しない</p>				
<p>ペットの同行避難 犬 猫 その他</p> <p>(相談ください)</p>				
<p>入所日 退所日 入所日 退所日</p>				
管理項目	名前	ひらがな	漢字	住所
	性別	介護要	治療要	アレルギー・透析等
エクセル管理	入所日	退所日	滞り場所	登録番号

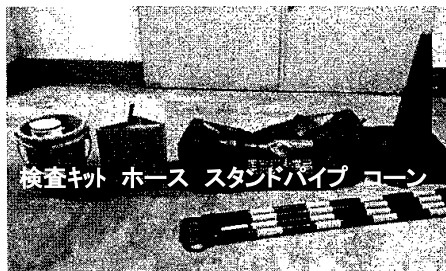
訓練時は記入の必要はありません。

登録番号は救援所の運営、管理体制ができた段階で行います。

12.消火活動

(1) スタンドパイプの使用について

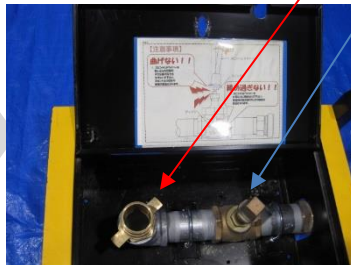
- ・スタンドパイプは消火栓につなげて使用します。
- ・備蓄倉庫1(理科室となり)にあります。



専用バルブ

つながぐ 栓を開ける

取り付け手順は蓋の内側に書いてあります。



(2) D級ポンプの使用について

- ・D級ポンプは防火水槽などから水をくみ上げて使用します。
- ・各町会にあります。

器具に書いてある①②③の順で



エンジンタブをひいて始動



レバーを落として、水抜き



回転盤を回して発射

13.防災かまどの設置

防災かまどは、備蓄倉庫1（理科室となり）にあります。

かまどは3つの鉄板を組み立てるように出来ています。

コンロの配管部に凹部が重なるように鉄板を設置します。



鉄板どうしの間に棒を通してつないでいきます。



※図はプロパン・コンロ使用時ですが、上下逆さにすれば薪を使用することもできます。

14. 受水槽蛇口取り付け

受水槽金網のカギは主事室に、受口金具は、備蓄倉庫1(理
科室となり)にあります。

①レバーを下げてホースのキャップを外します。

※キャップがなくなならないようにしまっておきます。



②受水槽側のキャップを(レバーを下げて)外します。



※このときキャップがなくなならないよう、
先ほどのホースのキャップと一緒にし
てしまっておきます。⑤も同じ。



※受水槽のバルブが閉まっている(時計回り
にいっぱい)ことを確認します。



③ホースと受水槽を(レバーを下
げて)固定します。



④蛇口管と土台を専用スパナで
固定します。



⑤蛇口管のホース取付口の
キャップを(レバーを下げて)
外します。

⑥蛇口管とホースを(レバーを下げて)固定します。



⑦受水槽のバルブを開けます。

15. 高円寺北災害備蓄倉庫からの搬入

・高円寺北災害備蓄倉庫2階には、杉並第一小学校用の毛布、大釜、使い捨てカイロなどが収納されており、非常時に必要に応じて取りに行きます。

(※ 倉庫の半分は杉並消防団第五分団本部が使用)

入っているもの

- ・リヤカー
- ・簡易間仕切
- ・クラッカー
- ・味噌汁
- ・ミネラルウォーター
- ・わりばし
- ・炊飯器具
- ・くん薪
- ・使い捨てカイロ
- ・マスク
- ・タオル、石鹸、洗い桶
- ・箱ティッシュ、紙おむつ
- ・毛布など



杉並第一小学校 備蓄倉庫 見取図

① 体育館倉庫

<左>

<上から見た図>

	A	A
B	左・床	
	C	C

手洗い・WC

<右>

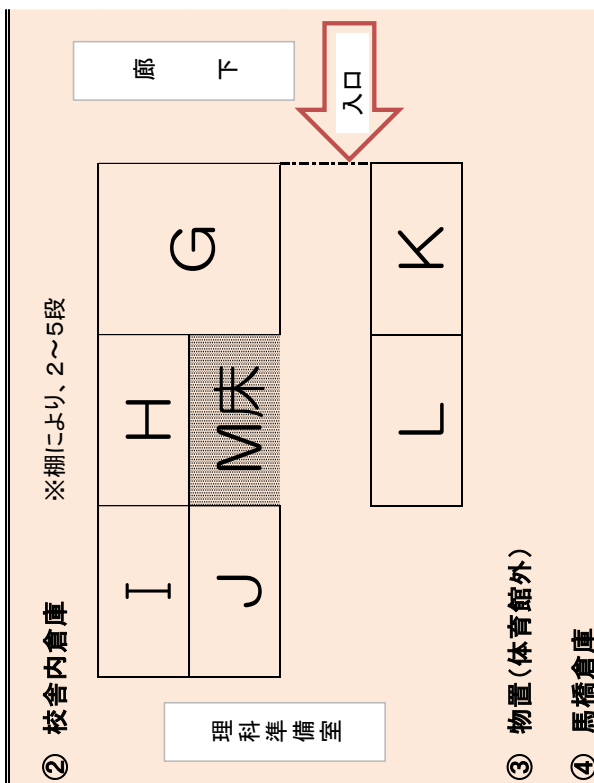
D	D	
右・床		E
F	F	



<横から見た図>

1段目	
2段目	
3段目	
4段目	

16. 杉一小の防災倉庫



備蓄品一覧 (棚卸作業用) への記録方法

【例】 No.1の震災救援セット＝左側のAの4段目にある ⇒ A4
No.55の車椅子＝左側倉庫の床に置いてある ⇒ 左床

備蓄品一覧(1/3)

<杉並第一小学校 防災倉庫備蓄品 数量・場所>

No.	品名	基準値		杉小				チェック
		数量	単位	数量	体育	理科	馬橋	
A・ 救 援 所 運 営	1 震災救援所セット（初動4班セット） ※1 詳細は裏面	1	組	1	A3	-	-	9/1 ✓
	2 ボランティア腕章	200	個	200	F2	-	-	9/1 ✓
	3 震災救援所用ベスト	50	着	50	B2	-	-	9/1 ✓
	4 ヘルメット	2	個	2	-	L2	-	9/1 ✓
	5 台車	1	台	1	-	M	-	9/1 ✓
	6 防水シート（ブルーシート）（1.5間×2間）（2間×3間）	各50	枚	50	A,C	-	-	9/1 ✓
	7 要配慮者用防水シート（オレンジシート）（2間×3間）	5	枚	5	A2	-	-	9/1 ✓
	8 要配慮者用テント(W2m×D2m×H2m)	1	張	1	-	G2	-	9/1 ✓
	9 ワンタッチ式テント(W1.2m×D1.2m×H1.8m)	2	張	2	D1	-	-	9/1 ✓
	10 テント型プライベートルーム（W1.8m×D1.8m×H2.2m）	3	張	2・3(+2)	-	G3	2階	9/1 ✓
	11 リヤカー	4	台	1・2(-1)	-	M	1階	9/1 ✓
	12 テント(ジャバラタイプ) (3.6m×2.4m)	2	張	2	-	M	-	9/1 ✓
	13 簡易間仕切(1セット：4畳半×10部屋)	4	セット	4	-	-	1階	8/7 ✓
	14 間仕切り（4部屋×1セット）	2	セット	2	-	-	1階	8/7 ✓
	15 ストーブ式（灯油仕様）	1	式	1	物置	-	-	9/1 ✓
	16 災害用特設公衆電話（N T T）	3	台	3	B3	-	-	9/1 ✓
	17 戸別受信機	1	セット	1	-	M	-	9/1 ✓
	18 USB充電器（ACアダプタ、ケーブル付）	3	個	3	B4	-	-	9/1 ✓
	19 アンブルボード	2	台	2	-	I1	-	9/1 ✓
B・ 食 品 ・ 飲 料 水 関 係	1 クラッカー（1箱70食入り）	3,500	食	3,500	-	J	2階	9/1 ✓
	2 ライスクッキー（アレルギー対応食 1箱40食入り）	320	食	320	-	J上	-	9/1 ✓
	3 アルファ米 個食用（アレルギー対応食 五目ご飯 1箱50食入り）	3,200	食	3,200	-	K1	-	9/1 ✓
	4 おかゆ（アレルギー対応 ほたて貝柱 1箱30食入り）	210	食	160	-	L4	-	9/1 ✓
	5 味噌汁（1箱200食入り）	1,400	食	1,400	-	-	2階	8/7 ✓
	6 食料用保存水（1箱 2L 6本入り）	384	本	354	-	K2	-	9/1 ✓
	7 ミネラルウォーター（1箱 2L 6本入り）	1,800	本	360・1440	-	K2	2階	9/1 ✓
	8 粉乳（らくらくキューブ アレルギー非対応）	192	食	192	-	G上	-	9/1 ✓
	9 粉乳（アレルギー対応ミルク800g）	1	缶	1	-	G上	-	9/1 ✓
	10 粉乳用ほ乳びん	30	本	30	-	G上	-	9/1 ✓
	11 液体ミルク（1缶200ml） ※2 詳細は裏面参照	40	缶	※2 詳細は裏面参照				
	12 液体ミルク用ほ乳びん（使い捨て）	40	個					
	13 わりばし	5,000	膳	5,000	-	-	2階	8/7 ✓
	14 炊飯器具（大釜・カマド・バーナー）	2	セット	1・1	-	G3	2階	9/1 ✓
	15 カセットコンロ	20	台	20	-	G2	-	9/1 ✓
	16 やかん	20	個	10	-	L4	-	9/1 ✓
	17 ラップ	50	本	50	A1	-	-	9/1 ✓
	18 金属バケツ	30	個	30	F1	-	-	9/1 ✓
	19 給水袋（5 L 50個、6 L 50個）	100	個	50・50	-	L2	2階	9/1 ✓
	20 ポリコップ（プラスチックコップ）	4,000	個	4,000	B1	-	2階	9/1 ✓
	21 受水槽セット	1	式	1	-	G2	-	9/1 ✓
	22 応急給水セット（黄色バック）	1	式	1	C3	-	-	9/1 ✓

※ 基準値 ＝ 震災救援所1箇所あたりの備蓄品の基準値

※ 格納場所は以下のとおり（アルファベット横に付記された数字は棚の段数で上段から下段へ1, 2, 3, 4の順）

A～C：体育館倉庫左側

D～F：体育館倉庫右側（なお、右床は当該倉庫内の床を指す）

G～M：校舎内倉庫（理科準備室）

※（20240901）リスト以外の体育館倉庫の保管物：登録カード、接骨セット、ハンマー、軽量カップ、救急箱

備蓄品一覧(2/3)

<杉並第一小学校 防災倉庫備蓄品 数量・場所>

No.	品名	基準値		杉一小				チェック
		数量	単位	数量	体育	理科	馬橋	
C ・ 工 具 ・ 救 助 関 係	1 スタンドパイプセット (青色バック)	1	式	1	C2	-	-	9/1 ✓
	2 救助工具セット ※3 内訳は裏面参照	1	式	1	物置	-	-	9/1 ✓
	3 ロープ (2巻1組)	2	巻	2	-	G1	-	9/1 ✓
	4 はしご	1	台	1	物外	-	-	9/1 ✓
	5 軍手	480	双	480	物置	-	-	9/1 ✓
	6 防塵マスク	150	枚	150	A1	-	-	9/1 ✓
	7 防塵メガネ	10	個	10	A1	-	-	9/1 ✓
	8 担架	10	台	10	物置	-	-	9/1 ✓
	9 万能担架	2	台	2	-	H	-	9/1 ✓
	10 レスキューキャリーマット	5	組	5	-	G上	-	9/1 ✓
	11 おんぶ紐	5	本	5	-	G上	-	9/1 ✓
	12 車いす(ノーパンクタイヤ)	2	台	1 (-1)	-	M	-	9/1 ✓
	13 松葉杖	5	組	5	A2	-	-	9/1 ✓
	14 応急救護セット	1	組	1	B1	-	-	9/1 ✓
	15 聴覚障害者対応セット※4 内訳は裏面参照	1	組	1	A1	-	-	9/1 ✓
	16 特殊救急収納袋 (遺体収納袋) ・遺体防腐剤	各5	セット	5	A1・A2	-	-	9/1 ✓
	17 三脚 (アルミ)	2	台	2	A2	-	-	9/1 ✓
D ・ 照 明 器 具 ・ 電 源 関 係	けん引式車椅子補助装置	1	台	1	A2	-	-	9/1 ✓
	1 コードリール	3	組	2・1	A4	G3	-	9/1 ✓
	2 投光器 (頭・三脚セット)	3	組	3	E1	-	-	9/1 ✓
	3 懐中電灯 (単三×2本)	50	個	50	B1	-	-	9/1 ✓
	4 LED防水ヘッドライト (単三×2本) 単三電池2本付き	20	個	20	C1	-	-	9/1 ✓
	5 ランタン (単三×4本)	50	個	50	D-F			9/1 ✓
	6 ラジオ (単三×2本) 単三電池2本付き	10	台	10	A1	-	-	9/1 ✓
	7 乾電池 (単三)	450	本	450	A1	-	-	9/1 ✓
	8 バルーン投光機	1	台	1	F3	-	-	9/1 ✓
	9 バルーン投光機用発電機 (青色)	1	台	1	F4	-	-	9/1 ✓
	10 小型発電機 (緑色)	1	台	1	F4	-	-	9/1 ✓
	11 発電機 (ガスボンベ式) (白色)	2	台	1・1	F4	M	-	9/1 ✓
	12 大型発電機 (青or赤色)	1	台	1	右床	-	-	9/1 ✓
E ・ 生 活 必 需 品 関 係	1 靴袋	1,000	枚	1,000	A1	-	-	9/1 ✓
	2 土のう袋 (マンホールトイレ重り用)	50	枚	50	E2	-	-	9/1 ✓
	3 毛布	800	枚	200・600	-	H	2階	9/1 ✓
	4 不織布毛布	400	枚	400	-	I2	2階	9/1 ✓
	5 エアーマット	400	枚	400	-	I1	-	9/1 ✓
	6 救急シート	100	枚	100	A1	-	-	9/1 ✓
	7 使い捨てカイロ	1,920	個	1,920	-	-	2階	8/7 ✓
	8 タオル	600	枚	300・300	-	H	2階	9/1 ✓
	9 ウェットティッシュ	1000	個	1,000	-	-	2階	8/7 ✓
	10 ポケットティッシュ	2,000	個	2,000	-	-	2階	8/7 ✓
	11 箱ティッシュ (1箱50個入×10)	500	個	500	-	-	2階	8/7 ✓

※ 基準値 = 震災救援所1箇所あたりの備蓄品の基準値

※ 格納場所は以下のとおり (アルファベット横に付記された数字は棚の段数で上段から下段へ1, 2, 3, 4の順)

A～C：体育館倉庫左側

D～F：体育館倉庫右側 (なお、右床は当該倉庫内の床を指す)

G～M：校舎内倉庫 (理科準備室)

備蓄品一覧(3/3)

＜杉並第一小学校 防災倉庫備蓄品 数量・場所＞

No.	品名	基準値		杉小				チェック
		数量	単位	数量	体育	理科	馬橋	
E・生活必需品関係	12 トイレットペーパー（1箱48個入×4）	192	巻	192	D・E	-	2階	9/1 ✓
	13 紙おむつ（大人用Mパンツ180枚入/パンツL192枚入）	各1	袋	各1	-	-	2階	8/7 ✓
	14 紙おむつ（子供S テープ82枚入）	1	袋	1	-	-	2階	8/7 ✓
	15 紙おむつ（子供M テープ128枚入/パンツ116枚入） 紙おむつ（子供L テープ108枚入/パンツ88枚入） 生理用品（1,080枚入） 洗い桶	各1	袋	各1	-	-	2階	8/7 ✓
		各1	袋	各1	-	-	2階	8/7 ✓
		1	箱	1	-	-	2階	8/7 ✓
		100	個	100	-	-	2階	8/7 ✓
	16 石けん（1箱200個入）	200	個	200	C1	-	-	9/1 ✓
	17 ハンドソープ（250ml）	25	本	25	-	I1	-	9/1 ✓
	18 マンホールトイレ和式（組立式テント付）	10	台	9 (-1)	D	-	-	9/1 ✓
	19 マンホールトイレ洋式	5	台	5	D	-	-	9/1 ✓
	20 ペール缶トイレセット（ワンタッチ式テント付）	3	セット	3	E1	-	-	9/1 ✓
	21 簡易トイレ（プラダン組立式）	2	台	2	D1	-	-	9/1 ✓
	22 洋式便器セット（収便袋10枚、受けバッグ1個）	20	セット	20	D1	-	-	9/1 ✓
	23 簡易トイレ（和式便器へセットし洋式にする）	5	台	5	E2	-	-	9/1 ✓
	24 収便袋	3,300	枚	1500・500 (-500)	D.F	L3	-	9/1 ✓
	25 ゴミ袋（45L（2袋）、90L（2袋））	各500	枚	各500	物置	-	-	9/1 ✓
	26 中身が見えないビニール袋			1,800				
	27 蓋付バケツ（20L）	20	個	20	-	-	2階	8/7 ✓
	28 トイレ清掃セット	1	式	1	F1	-	-	9/1 ✓
	29 マスク（1,000枚は真空包装）	2,000	枚	1,000・1,000	A1	I1	-	9/1 ✓
	30 女性用備蓄セット ※5 内訳は裏面参照	1	セット	1				
F・燃料関係	1 ライター	20	本	20	F1	-	-	9/1 ✓
	固形燃料（ヘキサクック）	36	個	36	-	-	2階	
	くん薪(5kg×4箱)	1	箱	1	-	-	2階	
	2 ガスボンベ(コンロ120・発電機30)	150	本	30・120	D2	G3	-	9/1 ✓
	3 ガソリン1缶缶詰 （学校倉庫30缶+災害備蓄倉庫14缶）	44	缶	30・32 (+18)	E2	-	-	9/1 ✓
	4 灯油缶詰（ストーブ用） （学校倉庫30缶+災害備蓄倉庫30缶）	60	缶	60				
	5 プロパンガス	1	本	1 (-1)	-	M	-	9/1 ✓
○帰宅困難者対応拠点7校（杉一・杉四・杉十・桃一・桃二・桃三 ・阿佐谷中）にはクラッカー各700食を別枠として備蓄								
○その他に接骨セット（健康推進課管轄）、ベット用備蓄（生活衛生課管轄）あり								
○B・3「アルファ米 個食用」、B・4「おかゆ」は令和4～7年度で順次入替								
○太陽光発電設備未設置校にポータブル蓄電池を3台ずつ配備（R4年度からR6年度）								
凡例：								
	R6年度新規備蓄品							
	R6年度から数量が変更となる備蓄品							
	R6年度中に廃止する備蓄品							
○備蓄品の総数：105アイテム								

※ 基準値 ＝ 震災救援所1箇所あたりの備蓄品の基準値

※ 格納場所は以下のとおり（アルファベット横に付記された数字は棚の段数で上段から下段へ1, 2, 3, 4の順）

A～C：体育館倉庫左側

D～F：体育館倉庫右側（なお、右床は当該倉庫内の床を指す）

G～M：校舎内倉庫（理科準備室）

※1 震災救援所セット（初動4班セット）

避難者対応班セット（主な役割：避難者誘導・受付）

品名	数量
1 誘導灯	3本 電池無し
2 誘導チョッキ	3着 9/1✓
3 メガホン	10個 9/1✓
4 トランジスタメーガホン（単三電池12本付）	2台 9/1✓
5 リーフレットファイル(マニュアル)	1冊 マニュアル無し
6 ノート（記録用）	3冊 9/1✓
7 パウチ①（トイレ用）	5部 9/1✓
8 パウチ②（初動対応アナウンス）	2部 4部
9 避難者登録カード	100部 9/1✓

施設の安全点検班セット（主な役割：施設点検）

品名	数量
1 建物点検用LEDライト（単一電池4本付き）	2台 9/1✓
2 立入禁止テープ	2巻 1巻
3 トラロープ 100m	1巻 9/1✓
4 トラロープ 20m	5巻 9/1✓
5 簡易工具セット ★1 内訳は右記参照	1個 9/1✓
6 リーフレットファイル(マニュアル,安全点検チェック)	1冊 マニュアル無し
7 ノート（記録用）	3冊 9/1✓

総括班セット（主な役割：情報集約・災対本部連絡）

品名	数量
1 震災救援所垂れ幕	1枚 9/1✓
2 腕章	24枚 9/1✓
3 文具セット ★2 内訳は右記参照	1式 9/1✓
4 布粘着テープ	10巻 9/1✓
5 多言語表示シート ◎対応言語は下記参照	1冊 9/1✓
6 トランシーバー	3台 9/1✓
7 携帯電話充電器（手動式）	1台 コネクタ古い
8 携帯電話充電器（電池式）	5台 コネクタ古い
9 携帯電話充電器（USB式6個口）	2個 9/1✓
10 電源タップ	2個 9/1✓
11 リーフレットファイル(マニュアル)	1冊 マニュアル無し
12 ノート（記録用）	3冊 9/1✓
13 ホワイトボードシート	1個 9/1✓
14 ホワイトボードシート用ペン（黒・赤・青）	各3本 9/1✓

15『痴漢は犯罪です！』ポスター（A3サイズ） 1部 9/1✓
◎中国語、韓国語、英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、ミャンマー語、ネパール語

衛生班セット（主な役割：感染症対策）

品名	数量
1 感染症対策セット ★3 内訳は右記参照	1式 9/1✓
2 リーフレットファイル(マニュアル,食中毒予防ハンドブック)	1冊 9/1✓
3 ノート（記録用）	3冊 9/1✓

★1 簡易工具セット内訳

品名	数量
1 モンキーレンチ/150mm	1本
2 ネールハンマー	1本
3 万能ハサミ	1本
4 ウォーターポンプブライヤー/235mm	1本
5 ラジオペンチ/150mm	1本
6 コンベックス/3m	1個
7 ドライバー/75,100,150mm,6×125mm	4本
8 スタビードドライババー/38mm	1本
9 カッター	1本
10 六角棒レンチ/1.5,2.2,5.3,4.5,6mm	7本
11 精密ドライバー	3本

★2 文具セット内訳

品名	数量
1 電卓	2台
2 マジック	20本
3 カッターナイフ	5本
4 セロテープ	2本
5 はさみ	2丁
6 鉛筆	2打
7 鉛筆削り	2個
8 災害備蓄倉庫鍵	1式

★3 感染症対策セット内訳 ※一部衛生班セット外にあり

品名	数量
1 フェイスシールド	230個 9/1✓
2 ゴム手袋（M300双、L200双）	500双 9/1✓
3 除菌消毒用漂白剤（1000ml）	2本 9/1✓
4 手指消毒剤（800ml）	18本 9/1✓
5 感染症対策除菌消毒剤（250ml）	4本 9/1✓
6 防護服セット	1式 9/1✓
7 医療用ガウン	250着 9/1✓
8 非接触式電子温度計保管場所A3パウチ	1枚 9/1✓
9 非接触式電子温度計（単三電池仕様）	2本 9/1✓
10 非接触式電子体温計（単四電池仕様）	1本 9/1✓
11 接触式電子体温計	5本 9/1✓
12 養生テープ	1個 9/1✓

※2 液体ミルクについて

- ・ 備蓄場所：区内5カ所の災害備蓄倉庫内冷蔵庫（阿佐谷南・井草・高井戸・善福寺第二・和田第二）
- ・ 常温（25℃以下）保管必須
- ・ 上記5カ所に持ち運び用クーラーボックスあり（各1個）
- ・ 各冷蔵庫に着電池を設置
⇒停電後、約72時間電源を確保

※3 救助工具セット内訳

品名	数量
1 スコップ（角）	5本
2 スコップ（剣）	5本
3 トピクチ	10本
4 カタヤ	10本
5 ツルバシ	10本
6 大型バール	10本
7 大型ハンマー	10本
8 カナテコ	10本
9 オノ	10本
10 折込のこぎり	10本
11 油圧ジャッキ（赤ケース）	1台

※4 聴覚障害者対応セット内訳

品名	数量
1 用紙（A4）	500枚
2 ファイル（A4）	2個
3 スケッチブック（A3）	5冊
4 ボールペン黒（1.0mm）	10本
5 油性ペン黒	4本
6 ホワイトボード（A3無地）	4個
7 ホワイトボードマーカー（黒）	5本
8 軍手	3双
9 緑色バンダナ（聴覚障害者用）	5本
10 黄色ゼッケン（ボランティア用）	5着
11 クリップボード	4枚
12 ヘッドライト	2個
13 暗闇で光る手話手袋	2組

※5 女性用備蓄セット内訳

品名	数量
1 防犯ブザー	900
2 メイク落とし	900
3 生理用品用ゴミ袋	300

17.マンホールトイレ(その1)

蓋を開けるバールは、備蓄倉庫2(体育館)にあります。

①マンホールの開け方



専用バールをバール穴に差し込み、穴の奥まで入れます。



(注意:マンホール蓋にはロック(錠)がついていて90度回すことでバールが固定されるタイプがあります。)



専用バールを外側に傾けることで蓋のロックが外れます。

ロックが外れたらそのまま持ちあげて水平に旋回します。



※注意:マンホールの中は有毒ガスが充満している場合があるので顔を入れて覗かないように。

閉める時は逆の手順になります。

17.マンホールトイレ(その2)

トイレ本体は、備蓄倉庫2(体育館)にあります。

②トイレの組み立て方



アルミの骨組みを四方の穴に入れて組み立てます。



骨組みができれば、マンホールと接着する金具を置きます。



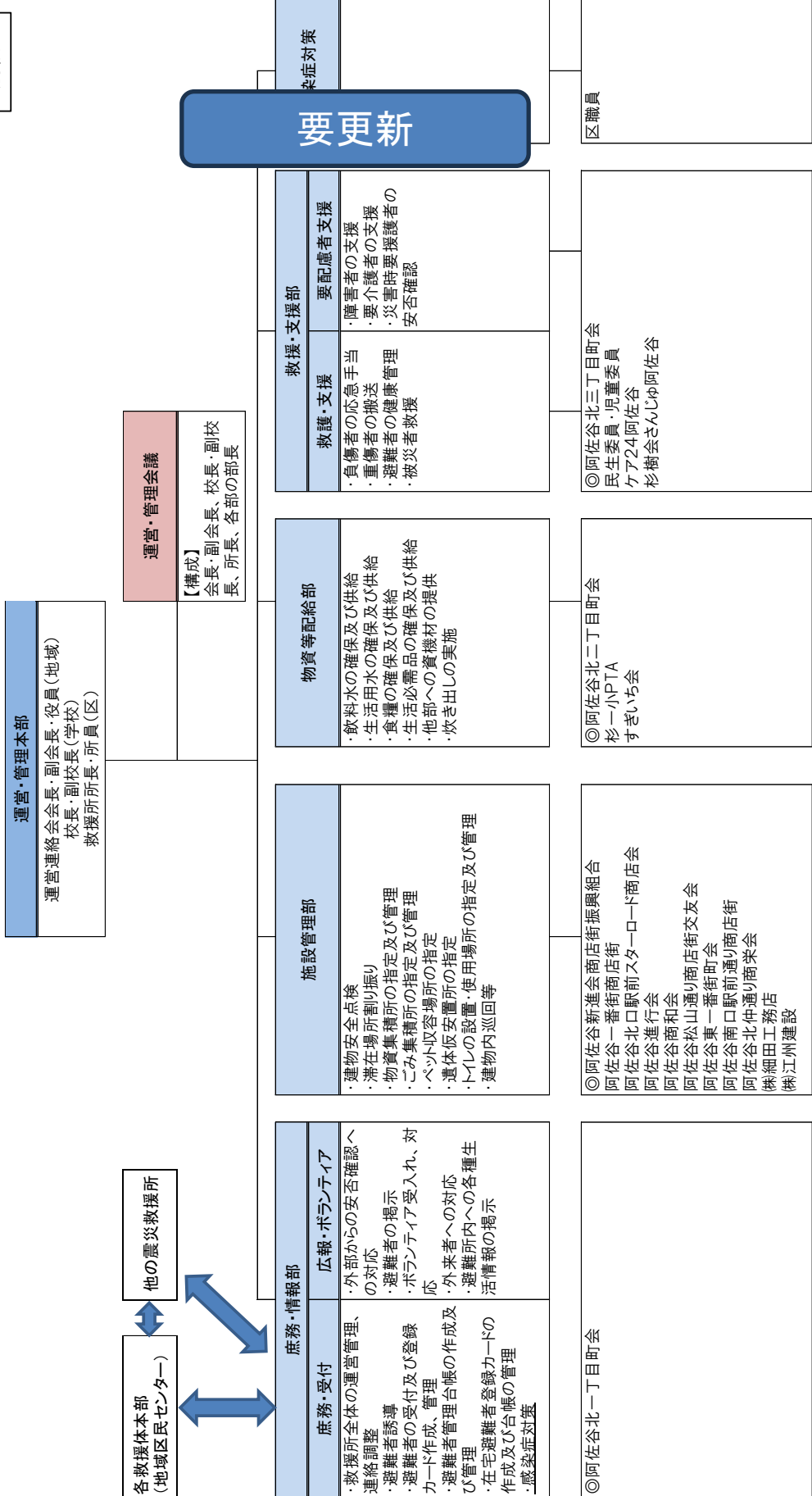
便座を入れて、カバーをかければ完了です。



便座が水平になるよう、上から強く押さえます。

杉並第一小学校震災救援所運営連絡会 組織図（案）

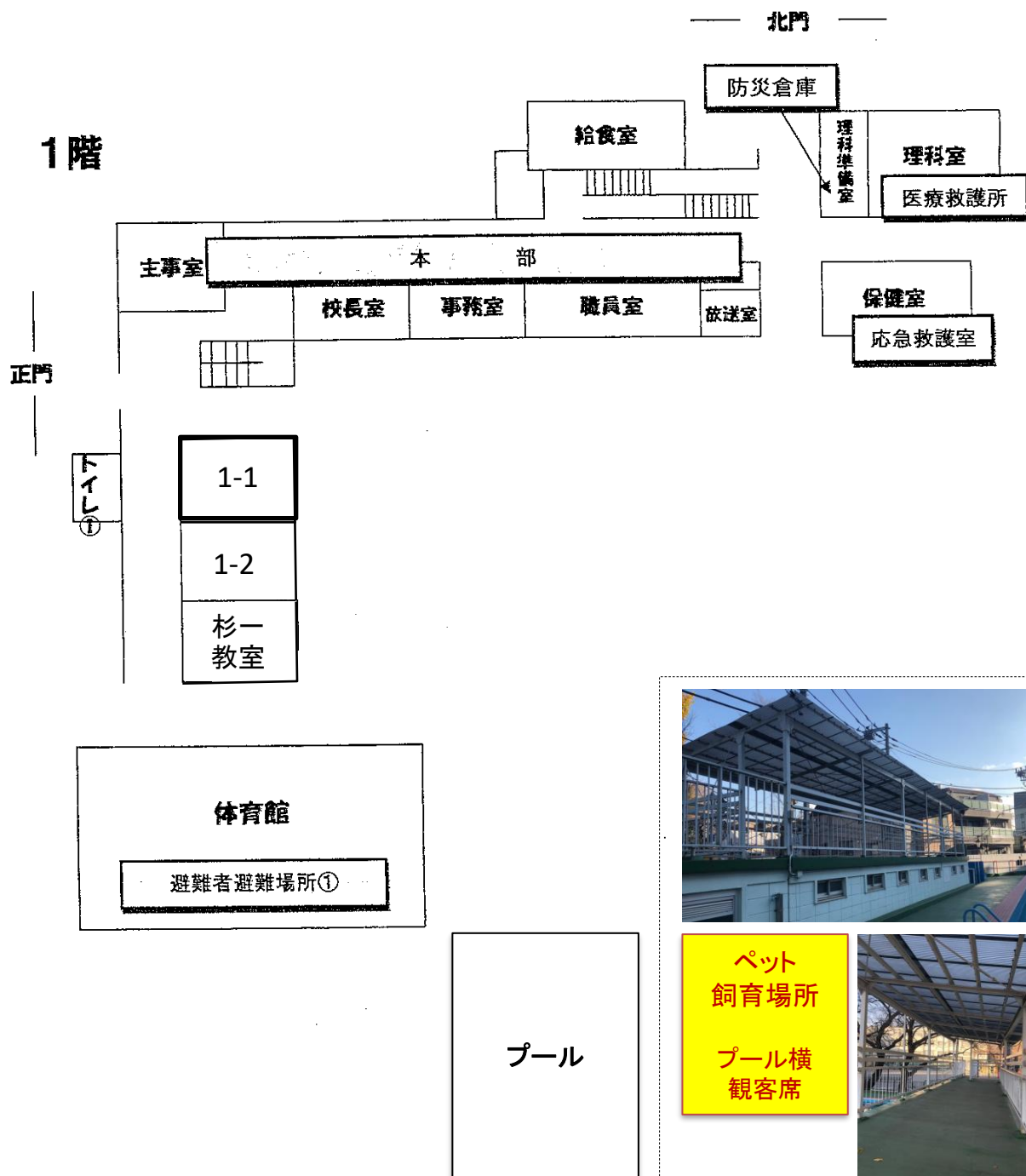
別紙2



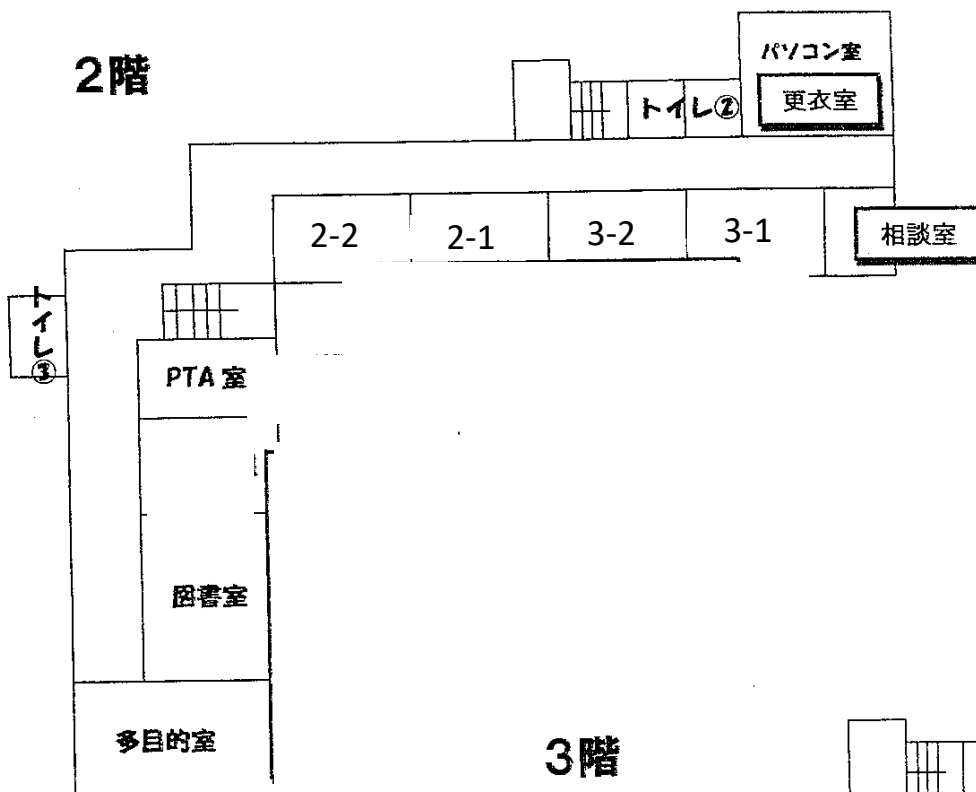
令和6年度 杉並第一小学校震災救援所 学校施設利用計画

階	教室名	広さ	用途	本部 使用	使用 優先度①	使用 優先度②	備考
4	普通教室（５－１）	63㎡		○			
4	普通教室（５－２）	63㎡		○			
4	普通教室（６－１）	63㎡		○			
4	普通教室（６－２）	63㎡		○			
4	トイレ⑥（男女）			○			
3	普通教室（４－１）	63㎡		○			
3	普通教室（４－２）	63㎡		○			
3	第二多目的室	63㎡		○			
3	音楽室	81㎡		○			
3	算数少人数室	63㎡		○			
3	音楽室（準備室）	32㎡		○			
3	図工室	63㎡		○			
3	図工室（作品保管室）	32㎡	本部（食料配布などのスペース）	○			
3	準備室（図工）	32㎡		○			
3	準備室（家庭科）	32㎡		○			
3	家庭科室	86㎡	本部（炊き出し）			○	
3	トイレ④（男女）					○	
3	トイレ⑤（男女）					○	
2	普通教室（２－１）	63㎡		○			
2	普通教室（２－２）	63㎡		○			
2	普通教室（３－１）	63㎡		○			
2	普通教室（３－２）	63㎡		○			
2	パソコン室	81㎡		○			
2	相談室	32㎡		○			
2	P T A 室	32㎡		○			
2	図書室	126㎡				○	
2	第一多目的室	86㎡	避難者滞在場所		○		
2	トイレ②（男女）				○		
2	トイレ③（男女）				○		
1	校長室		救援所本部	○			
1	職員室		本部使用	○			
1	主事室		本部使用	○			
1	放送室		本部使用	○			
1	事務室		本部使用	○			
1	保健室		本部使用	○			
1	理科室		医療救護所	○			
1	理科室（準備室）		応急救護室	○			
1	防災備蓄倉庫		防災備蓄倉庫	○			
1	給食室			○			
1	普通教室（１－１）	63㎡		○			
1	普通教室（１－２）	63㎡		○			
1	杉一教室	63㎡		○			
1	トイレ①（男女）				○		
体育館（ステージを除く）		458.8㎡	避難者滞在場所		○		
体育館（ステージ）		64㎡	避難者滞在場所		○		
屋外トイレ					○		

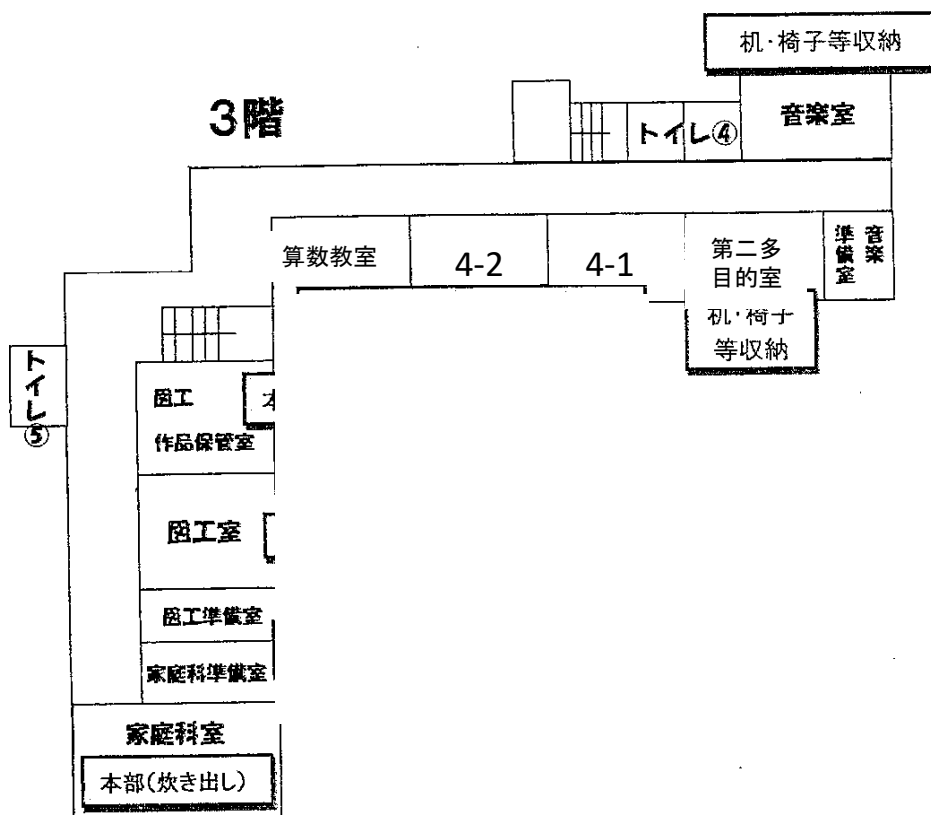
・使用優先度①：避難者を優先的に誘導する（個人情報などが比較的少ない設備）
・使用優先度②：①が空きがない場合のみ使用を検討する



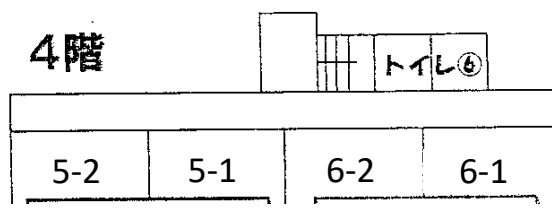
2階



3階



4階



1 安全点検チェックリスト【体育館】

実施日時： 月 日 時 分

1. 建物外観の目視

一見して危険と判断できるか

1	建物全体又は一部の崩壊・落階	なし	あり
2	基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ	なし	あり
3	建物全体又は一部の著しい傾斜	なし	あり

ひとつでも「あり」に該当する場合は危険なので体育館には入らない。
点検を終了し、救援隊本隊（災害対策本部）に報告します。

2. 建物外周の点検

建物外周（全周）からの点検

1	隣接建築物が傾き、体育館に倒れ込む危険があるか	なし	あり
2	建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、填砂・液状化が発生しているか	なし	あり
3	建物が沈下しているか、又は建物周囲の地面が沈下しているか	なし	あり
4	建物が傾斜しているか	なし	あり
5	外部の柱や壁に幅2ミリ以上のクラック（亀裂）が多数発生しているか	なし	あり

ひとつでも「あり」に該当する場合は危険なので体育館には入らない。
点検を終了し、救援隊本隊（災害対策本部）に報告します。

3. 建物内部の点検

体育館内に入る時は、外壁タイル・モルタル等の落下に十分に注意してください。

1	床がひどく歪んだり、破損しているか	なし	あり
2	天井や鉄骨のはり歪んだり、破損しているか	なし	あり
3	コンクリート壁、柱、はりに大きなひび割れ（幅2mm以上）が多く見られるか	なし	あり
4	左右上部の鉄骨筋かいに切断や曲がりがないか	なし	あり
5	照明器具、天井の仕上げ材などの落下の危険	なし	あり

ひとつでも「あり」に該当する場合は使用不可。
点検を終了し、救援隊本隊（災害対策本部）に報告します。

※「体育館の安全確認ポイント」を参照してください。

※校舎、体育館一体型の施設（校舎の上に体育館があるなど）については、下層の階（校舎）から安全点検を実施します。

2 安全点検チェックリスト【校舎】

実施日時： 月 日 時 分

1. 建物外観の目視

一見して危険と判断できるか

1	建物全体又は一部の崩壊・落階	なし	あり
2	基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ	なし	あり
3	建物全体又は一部の著しい傾斜	なし	あり

ひとつでも「あり」に該当する場合は危険なので校舎には入らない。
点検を終了し、救援隊本隊（災害対策本部）に報告します。

2. 建物外周の点検

建物外周（全周）からの点検

1	隣接建築物が傾き、学校舎に倒れ込む危険があるか	なし	あり
2	建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、填砂・液状化が発生しているか	なし	あり
3	建物が沈下しているか、又は建物周囲の地面が沈下しているか	なし	あり
4	建物が傾斜しているか	なし	あり
5	外部の柱や壁に幅2ミリ以上のクラック（亀裂）が多数発生しているか	なし	あり

ひとつでも「あり」に該当する場合は危険なので校舎には入らない。
点検を終了し、救援隊本隊（災害対策本部）に報告します。

3. 建物内部の点検

校舎内に入る時は、外壁タイル・モルタル等の落下に十分に注意してください。

1	床がひどく歪んだり、破損しているか	なし	あり
2	天井や鉄骨のはりが歪んだり、破損しているか	なし	あり
3	コンクリート壁、柱、はりに大きなひび割れ（幅2mm以上）が多く見られるか	なし	あり

ひとつでも「あり」に該当する場合は使用不可。
点検を終了し、救援隊本隊（災害対策本部）に報告します。